

私を探ってください 詩篇 139:13-18,23-24

2023. 2. 5 丘の上 NO. 695

春日部福音自由教会 山田豊

本詩篇は、神がどのような方であるかを歌い、そこから生まれる祈りが描かれています。知識として神がどのような方であるかを知るだけでなく、そのことが詩人の人格と一つになっていると言えるでしょう。

1-6節は、神はすべてのことをご存じである、神の全知ということです。自分のすべてが知られていると思うと、何やら怖い気がいたします。しかしここでは、神に知られているがゆえに、安心して神にすべてをゆだねることができる安心感へとつながっていきます。面白いことに、イエスは、隠れたところにおられる神が私たちを知っておられると言われました(マタイ 6:4,6)。かくれんぼの時、鬼は隠れている人が見えませんが、隠れている人はしっかりと鬼を見ているわけです。そんなイメージがわいてきます。

7-12節は、神はどこにでもおられる、私たちとともにいてくださる、神の遍在ということ。遍在という言葉の意味は、偏っているというものの逆で、あまねく、ひろく、隅から隅まで余すところなく存在している、ということ。8節には「よみに床を設けても、そこにあなたはおられます」とあります。死の世界においても、神がおられる、自分の最もつらいところに神はいてくださったのだ、と解釈することができるでしょう。「あしあと」という詩の最後に、「あしあとがひとつだったとき、わたしはあなたを背負って歩いていた。」と歌われているとおりです。

13-18は、神の創造の業、神は創造主であることが歌われています。それゆえ人はその生まれる前から、いや、この世界が生まれる前から神によってえらばれていた(エペソ 1:4)というのですから、すごいことです。どんな人であっても、その存在そのものが祝福されているのです。

19-22は、神は正義の方であることが歌われています。一読するとこの箇所は、詩篇 137にある、悪人に仕返しする人は幸いである、ということ以上の内容です。こんなことを歌っていいのかと思ってしまう。しかし、全知遍在であり、創造主である神は、神に逆らう者の仕打ちをゆるさないのです。神をないがしろにしているところから、あらゆる社会の悪、不正、残虐な行為が出てくるのです。

そして23-24節に、詩人の切なる祈りが書かれています。神によって深く探られるとき、究極の祈りが生まれてくるのです。「私をとこしえの道に導いてください。」と。ローマ 11:33-36には、神のみ心の深さが描かれています。

引用聖句

マタイ 6:4,6 あなたの施しが、隠れたところにあるようにするためです。そうすれば、隠れたところで見えておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。6 あなたが祈るときは、家の奥の自分の部屋に入りなさい。そして戸を閉めて、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたところで見えておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。

エペソ 1:4 すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方であって私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。

ローマ 11:33-36 33 ああ、神の知恵と知識の富は、なんと深いことでしょう。神のさばきはなんと知り尽くしがたく、神の道はなんと極めがたいことでしょう。34 「だれが主の心を知っているのですか。だれが主の助言者になったのですか。35 だれがまず主に与え、主から報いを受けるのですか。」36 すべてのものが神から発し、神によって成り、神に至るのです。この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。